

寅年生まれの児童に聞いた！

令和4年の目標

今年頑張りたいこと

今年の干支は寅。

12年前の平成22年、寅年に生まれた市内の児童たちに今年頑張りたいことを書いてもらいました。皆さん、強い決意と明るい表情が輝いています。

皆さんの今年頑張りたいことはなんですか。



戸部由梧さん

角館小学校・5年生



藤元向日葵さん

白岩小学校・6年生



田村空遠さん

生保内小学校・6年生



糸井真緒さん

神代小学校・6年生



高橋凜さん

西明寺小学校・5年生



門脇颯大さん

桧木内小学校・6年生



伊藤颯玖さん

大曲支援学校せんぼく校
5年生

新年のごあいさつ

仙北市長 田口 知明

仙北市の皆さま、あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、市内でも多くのお祭りや催事が開催の中止や規模縮小に追い込まれ、宿泊施設やお土産販売店などの観光産業はもとより、飲食業や農業など様々な産業が大きなダメージを受けておりますので、各産業への支援を引き続きしっかりと行ってまいります。

また、今年たざわ湖スキー場で予定されていた、フリースタイルスキー・モーグルのワールドカップは、本年が最後の開催年ということもあり、私もとても楽しみにしておりますが、新型コロナウイルス「オミクロン株」が世界中で感染が拡大し、色々な国から来日する選手やスタッフの受け入れが難しく、県と全日本スキー連盟と仙北市で協議

した結果、残念ながら中止となりました。北京オリンピック冬季大会が2月に開催され、その直後のワールドカップ開催予定で、間違いなく過去最高の盛り上がりを見せるはずでしたので、本当に悔しく残念でなりません。

しかしながら、ワクチン接種が進んだこともあり、日本国内においては昨年の秋以降、感染者が抑えられてきており、決して楽観はできないものの、コロナ禍からの出口が少しずつ見えてきているのではないかと感じています。ただオミクロン株のような変異ウイルスの脅威も増しておりますので、引き続きマスク・手洗い・密の回避などの感染予防を心がけることはもとより、3回目のコロナワクチンの接種を進め、そして再び感染が拡大した場合に備えることが重要ですので、医療従事者の皆さまをはじめ、関係機関からの協力を得ながら、今後のコロナウイルス感染拡大時の対応準備を進めたいと思います。

最後になりますが、新しい年を

迎えるの抱負をのべさせていただきます。

夢と希望を胸に理想を掲げながらも、現実には直面する課題から目を背けることなくしっかりと向き合い、市民の皆さまとともに幸福度全国ナンバーワンの仙北市を目指し、まちづくりを推進してまいります。

そして幸福度全国ナンバーワンという市政理念を実現するために、まずは中期的ビジョンとして、①感染症に強いまち、②市民が幸せを感じるまち、③子ども・母親が安心して暮らせるまち、④高齢者が安心して暮らせるまち、⑤仙北市ブランドを核とした稼げるまちづくりを具体的に進め、次に長期的ビジョンとして、①目標をもち、

やりたいことがある人が多いまち、

②やりたいことにチャレンジしている人が多いまち、③日々の暮らしで生きがいを感じている人が多いまち、④自分のことを大切に思ってくれる人がいるまち、⑤頼れる人がいるまち、⑥自分の居場所や役割があるまちとなれるように全力で取り組んでまいります。

どうか市民の皆さまには本年も市政運営へのご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお祈り申し上げます。

皆さまやご家族にとって今年一年が、笑顔と喜びに満ちたすばらしい年となりますよう心からお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

田口市長に聞いた！

令和4年の目標

